

ほっとサロン益田

《ほっとサロン益田》がん教育への取り組み

目的：自分や身近な人が、がんに罹患してもそれを正しく理解して向き合う事が出来る

いのちの授業 in 豊川小学校 2019.10.18



事前打ち合わせ→事前アンケート→予備学習→授業→感想

いのちの授業のタイムスケジュール (45分間)

0~15: いのちの授業

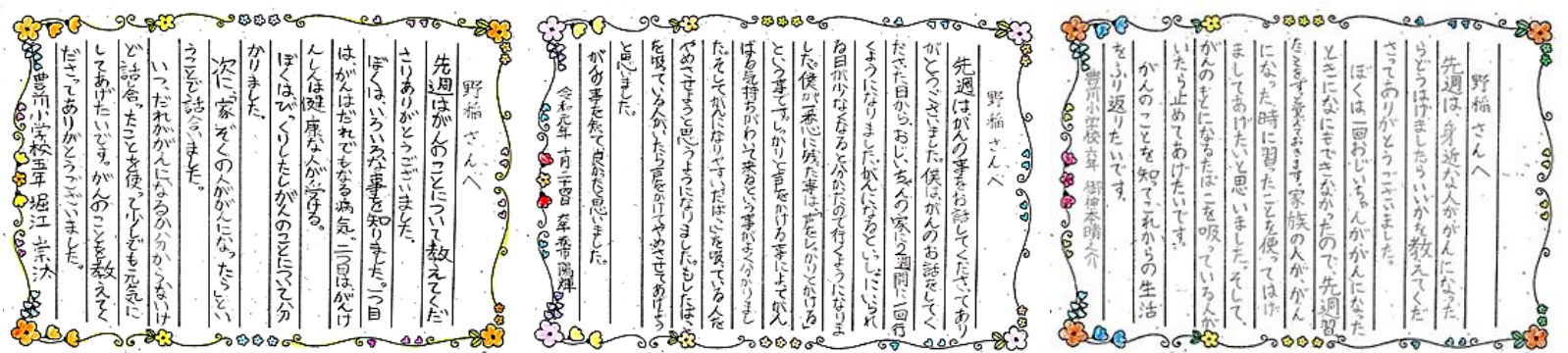
- 家族ががんになったら、何をしあげられますか？
- たばこを含めた生活習慣などを見直しがんの予防をする
- がん検診の大切さ
- がんは怖くない

15~30: グループワーク

- もしも、身近な人ががんになったら
- ほっとサロン益田メンバーがファシリテーターとして参加

30~40: テーマにそってグループ発表

40~45: 発表を受けての感想



がん教育の成果 (児童・保護者の感想)

- がんについて家族との話しが出来た
- 健康やいのちの大切さを学ぶことを知った
- がん患者との接し方を学んだ

小学校五・六年生の皆さんへのがん教育の1例ですが、少しでも、いのちの大切さ・がんと共に生きることを患者の立場として伝えていけたらと思います。

学校関係者との良い関係が構築されており、今後、更なるいのちの授業を重ねていきたいと考えております。

お家の人からの感想

- ☒ がんになってしまうと、本人はもちろん、家族などの身近な人もやはりショックで気持ちが落ち込んでしまうと思います。そんな時に周りの人は、一緒に落ち込むのではなく、本人が少しでも前向きな気持ちになれるように応援することが大切だと思います。一人で頑張るのではなく、みんなで頑張っている気持ちを伝えることが出来れば、より前向きに頑張れると思います。子どもの話から、そのように感じる事が出来ました。
- ☒ じいちゃんが手術をしたこともあり、少しはがんという病気を身近に感じているかもしれません。勉強をしていた日には、「タバコはがんになるよ」など話してくれました。早期発見をできれば、治らない病気ではなくなったけど、上に書いてあるような気持ちをもって、病気の人と接してもらいたいと思います。
- ☒ 祖父が胃がんになったのは、小学校1年生の時です。小さいながらも、とても衝撃的だったと思います。作文にも祖父の事を書いたり、とても、祖父に優しいです。身近に病気の人がいると、いろいろ考えたり行動できたり、本人自身の成長にもつながるのではと思います。
- ☒ 益田市はがん検診の受診率が少ないという現状を子供も学習したと言っていました。検診ばかりが、がんの予防にはなりません、がんになりにくい身体を作るために、規則正しい生活習慣や食生活、ストレスをためない工夫、プラス思考で日々の生活を送るなど心掛けて、健康に生活していきたいと改めて感じました。
- ☒ 子供に「もし身近な人が、がんになったら…」という、余り考えたくない内容をぶつけ、いったいどのように考えるのか、少し不安になりました。私のどう思う？という質問に、「なった事は変えられない。では、そこからどうするかが大事。」と返事が返ってきました。なかなか家では、話を避けてしまいがちな内容をしっかり考える時間を作ってもらい、とても良かったです。
- ☒ がんにならないよう、がん検診だけでなく、普段から健康に気を付けようと思います。
- ☒ がんになったら、私はずっと一緒にいてあげたいです。やっぱり、健康が大事だと私も思いました。
- ☒ 現代の医療は、だいぶ進化しているけど、がんはなかなか治癒させることも難しく、がんの種類も色々ありますし、延命治療だけではなく、将来的に「完治」という言葉が聞けたらなと思う。身体をがんで亡くした人も数人います。白血病の人もいました。亡くなるまで側で看ること、話しかけることしかできず…周りもつらい思いをします。新しい病気も出てきているし、この世から病気がなくなることはできないけれど長く長く、生きられるように医学の発展を願います。

《ほっとサロン益田 ころころの相談室》

目指す方向性：がん患者のころころの痛みを癒せる場所

院内患者会では、全国に先立ってビハーラ僧侶・認定臨床宗教師・チャプレンの方々にご協力を頂いて、宗派の垣根を越え、がん患者・家族・遺族の方々のころころの相談室を益田赤十字病院での毎月1回第3火曜日に開催しております



ビハーラ僧侶さん



臨床宗教師
チャプレン



ころころの相談室のスタッフ



臨床宗教師



臨床宗教師・ビハーラ僧



ほっとサロン益田では、がん患者・家族遺族の方へ心身の内外のアフターケアを考えて、内面では、2018年9月より開催しております、院内患者会では全国初の『心の相談室』として毎月第3火曜日 13:00~15:00 にビハーラ僧を中心に開催してまいりました会を改めて、2019年4月から、ビハーラ僧・認定臨床宗教師・チャプレンの方のご協力の元、『心の相談室』として生まれ変わり、それぞれの立場のご衣裳を着衣頂き、がん患者・家族・遺族の方々に寄り添い、心身のケアをしていただいております。

外面では、2019年4月から第一火曜日にアピランスアドバイザーをお迎えして、サロン内でアピランスケアをして頂き、今まで誰にも相談出来なかった患者さんの思いをケアして頂いております。ほっとサロン益田の取り組みが少しでも、がん患者・家族・遺族の方々の心身の軽減、一歩でも前向きになるきっかけになればと、日々邁進しております。